

番号	年	回	タイトル	講師	分野	タイプ	備考
1	2017下期	1	「でんぐりがえしプロジェクト」の極意を解剖すると	ゆき			
2	2017下期	2	医師も知らない1万人にひとりの遺伝病アルビノ 幸せに生きるための日本初の入門書が評判	アルビノドーナツの会顧問 石井更幸先生	遺伝		
3	2017下期	3	聾の両親の娘として、聾のナースとして 大学院で学び、いま、見つけた働く道	看護師、養護教諭 皆川愛先生	ろう		ナース
4	2017下期	4	“触ると壊れる子供たち”と呼ばれる表皮水疱症の当事者として、研究者として	新潟大学医歯学総合病院皮膚科准教授 新熊悟先生	遺伝		医師
5	2017下期	5	重度障害者が存在する意味～相模原事件から受け取るもの～	自立生活センター・東大和理事長 海老原宏美先生	人工呼吸器		社会改革
6	2017下期	6	「早期発見⇒早期絶望」だった認知症 いま、希望と権利へ	オレンジドア・丹野智文先生、いずみの杜診療所・山崎英樹先生	認知症・医師		
7	2017下期	7	精神病の体験を、あとに続く人々のために	減薬プロジェクト あや子先生、ノリ先生、松本葉子先生	精神病		
8	2017下期	8	でんぐりがえしプロジェクトシリーズから学ぶもの	埴岡健一先生&ゆき			
9	2017下期	9	麻薬に溺れ、弟まで巻き込んでしまった体験 一人体験劇で訴えて12年	俳優 内谷正文先生	麻薬依存		
10	2017下期	10	パラリンピック銀メダルの経験を生かして スウェーデンの福祉を日本に伝える	スウェーデン・クオリティケア エーミル・オストベリ先生	盲		
11	2017下期	11	身体拘束10日めの夜、心肺停止で発見された弟の死、日本の医療改革に生かしてほしい	オックスフォード大学 パトリック・サベジ 先生	身体拘束		遺族
12	2017下期	12	視覚障害のある日本初の参議院議員 白杖は「凶器」と持ち込めなかった時代に	社会福祉法人 共同連理事長 堀利和先生	盲		
13	2017下期	13	冤罪で拘置所に囚われて知ったこと 3000万円の慰謝料をもとに始めたこと	前厚生労働省事務次官 村木厚子先生	冤罪		事務次官
14	2017下期	14	オープンリーゲイの渋谷区ダイバーシティ推進担当課長	渋谷区総務部男女平等・ダイバーシティセンター 永田龍太郎先生	LGBT		
15	2017下期	15	飛び入りゲストを迎えて。。	ゆき			

番号	年	回	タイトル	講師	分野	タイプ	備考
16	2016下期	1	「でんぐりがえしプロジェクト」の極意を解剖すると	ゆき			
17	2016下期	2	首から下が動かない身で、障害のある仲間にITで働く仕事をつくりだした日々、そして、突然。。	バーチャルメディア工房ぎふ理事長 上村数洋先生	頸髄損傷		
18	2016下期	3	性的マイノリティとともに生きる、元先生の新宿の牧師	日本キリスト教団新宿コミュニティー教会 中村吉基先生	LGBT		
19	2016下期	4	「お年寄りが主役のまちづくり」の仕掛け人は、スーパーの元敏腕課長	元気スタンド「ぶリズム」代表 小泉圭司先生	高齢者		
20	2016下期	5	母が飲んだサリドマイドで両腕を失ったデザイナーが、いま、目指す薬害根絶	NPO法人患者スピーカーバンク研修担当 間宮清先生	薬害		中医協
21	2016下期	6	「連続医療事故」を起こした大学病院と協力して病院改革を進める遺族たち	医療の良心を守る市民の会事務局長 川田綾子先生	医療事故		遺族
22	2016下期	7	ろうの患者学～ろうのがんサバイバーとして～	がんばりチーム・代表 皆川明子先生	ろう		
23	2016下期	8	米国で、西欧で、北欧で、日本の各地で 出会った逆転の実践	ゆき			
24	2016下期	9	熊本地震の真ん中に立って見えてきた障害者の実像	熊本学園大学教授弁護士・東俊裕先生	脊椎損傷		
25	2016下期	10	腎臓移植で甦ったテレビコメンター その視点	本大学院特任教授 川村晃司先生	腎臓移植		ジャーナリスト
26	2016下期	11	白血病で世を去った妻が残した手紙 そして、経済ジャーナリストから医療の世界へ	本大学院教授 埴岡健一先生	白血病		遺族
27	2016下期	12	精神病体験者の笑顔が表紙を飾るコンボ その「助っ人」として製薬業界から転身 ご本人が医療を選べる「見える化」に挑戦	NPO地域精神保健福祉機構（コンボ）専務理事 島田豊彰先生	精神病		支援者
28	2016下期	13	「全盲」という特技で	バリアフリー映画研究会理事長 東大先端科学技術研究センター特任研究員 大河内直之先生	盲		
29	2016下期	14	銀行員だったからこそ見えた 日本の精神病院の不可解、不条理、非常識	杏林大学保健学部教授 長谷川利夫先生	身体拘束		支援者
30	2016下期	15	飛び入りゲストを迎えて。。	ゆき			
31	2015下期	1	なぜ、当事者から？ 現場から？ なぜ、倫理を変える必要が？	けんたろうさん	LGBT		

番号	年	回	タイトル	講師	分野	タイプ	備考
32	2015下期	2	「この薬は誰にも飲まされへん」と、出世の道を断ち、クビを覚悟で会社にストップをかけ薬害を未然に防いだ研究者にとって、倫理とは？	大阪市立大・立命館大特別講師 北野静雄 先生	薬害		内部告発
33	2015下期	3	ドラッグに溺れた若き日の心のうちは？ その体験を、いま、後輩のために生かすピアカウンセラーという仕事とは？	Freedom代表 倉田めば先生	ドラッグ依存		
34	2015下期	4	不動産会社社長が、精神病を体験した人たちの街での暮らしを応援して一肌脱いだわけ。肝っ玉オバサンと敬愛されて得たものは？	阪井土地開発代表取締役 阪井ひとみ先生	精神病		支援者
35	2015下期	5	「知性も人格も命も失っていくレビー小体認知症」と知らされた日々から復活。「いまが人生で一番幸せ」といえるのは、専門家も脱帽する著書が結んだ人との絆でした	『私の脳で起こったこと』著者 樋口直美先生	認知症		
36	2015下期	6	27歳で乳がん手術。当時は若い同患者に巡り会えず、ひとりぼっちで再発に怯えていました。40歳のいま、全国のがん患者会をまとめる事務局長になっての新たな挑戦は？	全国がん患者団体連合会事務局長 三好綾先生	がん		
37	2015下期	7	「子宮頸がんワクチン」の被害の解明は、日本が世界の先頭を切っています。それは、児童文学作家の卵の「みかりんのささやき」というブログと3人の子を育てた主婦出身市議の出会い、発信力からでした。当日思いがけない人も加わって社会を変える方法をディスカッション	全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会代表&事務局長 松藤美香先生&池田利恵先生	ワクチン被害		母
38	2015下期	8		ゆき			
39	2015下期	9	愛児を突然失った医療事故遺族から、病院の医療安全担当者へ。さらに、患者と医療者をつなぐNPOの理事長に。10月発足の医療版事故調の成立過程にかかわって知った官僚と政治家の素顔	NPO法人「架け橋」事務局長 豊田郁子先生	医療事故		遺族
40	2015下期	10	生き別れた母が統合失調症と知った若き日、そして、父の認知症を体験した高名な分子生物学者が見つけた「臨床家が研究する意味」	東京都医学総合研究所病院等連携研究センター長 糸川昌成先生	精神病家族		研究者
41	2015下期	11	ユニバーサルデザイン思想の真髄を身をもって世界に広める第一人者は一級建築士で、車いすユーザー。そしてロン・メイスの盟友。	東洋大学人間環境デザイン学科教授 川内美彦先生	脊椎損傷		研究者
42	2015下期	12	誕生から78歳の現在まで体験しつくした聾の世界。だれもが感動するカリスマ手話通訳士の妙技もあわせて。	聾の語り部 檮澤加津人先生、手話通訳 山口千春先生	ろう		
43	2015下期	13	絵本が大好きな女の子が4歳で失明。玩具メーカー「タカラトミー」から、経済産業省の国際標準専門職に転身。ITと英語力を生かして世界に羽ばたいて見た世界は？	経済産業省 国際標準課 高橋玲子先生	盲		官僚
44	2015下期	14	ひきこもれる力・生きにくい力を、働く力に変えていく。そんな応援センターの名は“Tekitoo（テキトー）”。地域を応援団にしていくなまめな味方づくりの秘密と仕掛けは？	東近江圏域 働き・暮らし応援センター センター長 野々村光子先生	ひきこもり		支援者
45	2015下期	15	魅力的なゲストのみなさんから学んだことを、それぞれの明日に生かすための大討論会	ゆき			
46	2014下期	1	「ご本人に学ぶ」ということ	ゆき			
47	2014下期	2	自殺って言えなかった ～痛みを拓いて、変わってきたこと～	根岸親先生 NPO法人自殺対策支援センター ライフリンク 副代表	自殺		遺族

番号	年	回	タイトル	講師	分野	タイプ	備考
48	2014下期	3	認知症と生きる人たちが開く・創る ～地域の夜明け～	前田 隆行先生+メンバーお2人 特定非営利活動法人町田市つながりの開DAYS BLG！ 代表	認知症		
49	2014下期	4	見えない・聞こえないからこそできる仕事がある ～ある特例子会社の取り組み	小高公聡先生 NTTクラリティ アクセシビリティ推進室長	盲		
50	2014下期	5	非配偶者間人工授精で生まれた子どもの「出自を知る権利」	加藤英明先生 DIで生まれた子どもの会	人工授精 で出生		医師
51	2014下期	6	扉よ開け 大阪の精神病棟への訪問活動より	山本深雪先生 大阪精神医療人権センター副代表	精神病		
52	2014下期	7	「常識」を疑うということ	ゆき			
53	2014下期	8	難聴と佐村河内氏問題 障害者権利条約、そして、私	高岡正先生 一般法人全日本・難聴者団体連合会 相談役	難聴		
54	2014下期	9	障害者として、理事長として、母として	奥山葉月先生 NPO法人自立生活センター・立川理事長	先天障害		
55	2014下期	10	なぜ内部告発しなければならなかったのか ～千葉県がんセンターの場合～	志村福子先生 元・千葉県がんセンター麻酔科医	内部告発		医師
56	2014下期	11	アルチューハイマーが語る認知症への備え	石黒秀喜先生 長寿社会開発センター理事	認知症		
57	2014下期	12	読み書き障害（学習障害）者が教師になって見えた社会の在りよう	神山忠先生 岐阜市立岐阜特別支援学校 地域支援センターセンター長	学習障害		教師
58	2014下期	13	健康な子宮・卵巣を、営利のために摘出病院ぐるみの犯罪の被害者となって	小西熱子先生 富士見産婦人科病院被害者同盟 代表	医療被害		
59	2014下期	14	社会を変える・政策を変えるということ	向谷地宣明先生	精神病		支援者

番号	年	回	タイトル	講師	分野	タイプ	備考
60	2013下期	1	当事者から学ぶということ	アルビノのみなさん 心療内科医・今崎牧生さん	頸髄損傷		医師
61	2013下期	2	医療のために、法ができることを考えよう	東京大学法学部教授 樋口範雄先生	人工透析		研究者
62	2013下期	3	盲目の弁護士から見た社会で起きていること	日本盲人会連合会長 竹下義樹先生	盲		
63	2013下期	4	少年院の経験、居場所と誇りをつくる日本と海外の実践	セカンドチャンス！代表 才門 辰史先生、静岡県立大学教授 津富宏先生	少年院		
64	2013下期	5	「うそをつかない医療」17年の実践から	共立総合病院名誉院長 原春久先生	I C		医師
65	2013下期	6	ゲイ、レズビアンから見た医療と福祉の倫理	グッドエイジングエールズ代表 松中権先生	L G B T		
66	2013下期	7	自殺未遂体験をカウンセリングに生かす	ありがトン代表 澤登和夫先生	自殺未遂		
67	2013下期	8	聴くこと、そして発信すること その神髄は？	ゆき			
68	2013下期	9	息子の看取り体験から健康問題まで～ろう者の視点にたった医療～	全日本聾唖連盟理事長 石野富志三郎先生	ろう		
69	2013下期	10	「経産省の山田課長補佐、ただいま、育休中」から7年、変わったこと 変わらなかったこと	厚労省イクメンプロジェクト推進メンバー・前横浜市副市長 山田正人先生	イクメン		
70	2013下期	11	がん体験者のサロンから広がった波	島根がんケアサロン代表 納賀良一先生	がん		
71	2013下期	12	薬害被害、HIV体験、血友病体験、そして国会議員6年の体験で見たもの	参議院議員 川田龍平先生	HIV血友病		国会議員
72	2013下期	13	消費者被害、障害のある人、認知症の人から学んだこと	消費者庁次長 山崎史郎先生	消費被害		支援者
73	2013下期	14	聴講のみなさんの体験を中心に	ゆき			

番号	年	回	タイトル	講師	分野	タイプ	備考
74	2012下期	1	発信力を磨くとは？政策を変えるとは？ 倫理を変えるとは？	ゆき			
75	2012下期	2	補導歴8回・逮捕歴6回・アコギな商売出家・そして駆け込み寺	一般社団法人日本駆け込み寺理事長 玄秀盛さん	逮捕歴		
76	2012下期	3	医療事故を起した人と・被害者の架け橋となって～医療で悲しむ人をなくすために～	NPO法人「架け橋」理事長 豊田郁子さん	医療事故		遺族
77	2012下期	4	「イクメンで行こう」～実践・研究、そして発信～	東レ経営研究所研究部長 渥美由喜さん	イクメン		研究者
78	2012下期	5	厚生省の福祉担当課長として、県知事として、そして、いま、白血病患者として	慶応義塾大学教授 浅野史郎さん	白血病		知事
79	2012下期	6	盲ろう者として生きて、考えたこと 日本で、そして世界で	東京大学先端科学技術研究センター教授 福島智さん	盲&ろう		研究者
80	2012下期	7	聴覚障害からの発信～講談・テレビ・映画を経験して～	NHK手話ニュース・キャスター 那須 英彰さん	ろう		
81	2012下期	8	「幻聴妄想かるた」が生まれた場所	就労継続支援事業所・「ハーモニー」 新澤克憲さんとメンバーのみなさん	精神病		
82	2012下期	9	法律家から薬害・医療事故・訴訟をみると	明治大学法科大学院教授・弁護士 鈴木利廣さん	医療事故		弁護士
83	2012下期	10	認知症を公表して、生きるということ	ピック病当事者 中村 成信さん、アルツハイマー病当事者 佐藤 雅彦さん、サポーター 永田 久美子さん・前田 隆行さん	認知症		
84	2012下期	11	病と語りのサイト・ディペックスで前立腺がんの経験を話して得たもの	前立腺がん支援ネットワーク主宰 武内務さん	がん		
85	2012下期	12	北欧と日本で暮らし、「口からウンチが出るように手術してください」という本を書いたわけ	バリアフリーコンサルタント 小島直子さん	車いす		
86	2012下期	13	臨床試験の倫理～がんワクチンの真実	日本医大腫瘍内科教授 勝俣範之さん	臨床試験		支援者

番号	年	回	タイトル	講師	分野	タイプ	備考
87	2011下期	1	現場の医療福祉倫理から見た日本の素晴らしいところ・ダメなところ	ゆき			
88	2011下期	2	聞こえないひとにとって不都合な日本の医療と福祉	全日本ろうあ連盟事務局長 久松三三さん	ろう		
89	2011下期	3	障害が重くても、愛するひとと故郷のまちで～施設解体の挑戦～	社会福祉法人南高愛隣会理事長 田島良昭さん	知的障害		支援者
90	2011下期	4	4度の手術と死に向き合って～テレビメディア・活字メディアの中で～	ジャーナリスト 鳥越俊太郎さん	がん		ジャーナリスト
91	2011下期	5	盲目の弁護士だから見えた福祉と人権	弁護士 大胡田誠さん	盲		弁護士
92	2011下期	6	養護施設からの出発	NPO法人病気の子ども支援ネット理事長 坂上和子さん、アンカーコム株式会社代表 長坂由佳さん	養護施設		
93	2011下期	7	医療福祉のキーワード インフォームド・コンセント、ノーマライゼーション、ボランティアの底に流れるもの				
94	2011下期	8	法律家から見た医療事故患者と医療者の「架け橋」に加わって	中京大学法科大学院教授 稲葉一人さん	医療事故		弁護士
95	2011下期	9	障害のある子を生むということ そして、医療者の利益相反	愛育病院新生児科部長 加部一彦さん	障害児		医師
96	2011下期	10	「患者権利宣言」の病院長から街中の訪問精神科医へ	聖隷三方原病院名誉院長 新居昭紀さん	精神病		医師
97	2011下期	11	4つの癌の体験者として、患者家族として ピアサポーターとして	聖隷佐倉市民病院 脳外科部長 富田伸さん	4つのがん		医師
98	2011下期	12	認知症と尊厳～拘束とオムツからの解放	拘束廃止研究所所長 田中とも江さん	オムツ		ナース
99	2011下期	13	現場から変えたパイオニアに共通すること（聴講のみなさまとともに見つけます）	ゆき			

番号	年	回	タイトル	講師	分野	タイプ	備考
100	2010下期	1	日本の素晴らしいところ・ダメなところ	ゆき			
101	2010下期	2	患者と医療者をつないだ「うそをつかない医療」	新葛飾病院院長 清水陽一さん	癌		医師
102	2010下期	3	患者にしか語れない言葉がある それを、ウェブでサイトで伝える挑戦	健康と病いの語り ディペックス・ジャパン理事長 別府宏 園さん、事務局長 佐久間 りかさん	患者の語 り		医師
103	2010下期	4	聞こえない身で精神科医になって変えたこと	視覚障害をもつ医療従事者の会（ゆいまーる）精神科医 大 里晃弘さん	盲		医師
104	2010下期	5	薬害被害者が変えたこと変えられなかったこと!	薬害HIV訴訟大阪原告団代表 花井十伍さん	薬害HIV		中医協
105	2010下期	6	ムンテラからインフォームド・コンセントへ、そして……	ゆき			
106	2010下期	7	口から食べられなくなったらどうしますか? 「平穏死」のすすめ	芦花ホーム常勤医師 石飛幸三さん			医師
107	2010下期	8	産婦人科領域の倫理と非倫理、内部告発という名のボランティア	金沢大学医学部産婦人科講師 打出喜義さん	人体実験		内部告発
108	2010下期	9	聞こえない弁護士が提言する医療福祉の人権改革	都民総合法律事務所弁護士 田門浩さん、千葉県聴覚障害者 協会総括マネージャー 山口千春さん	ろう		弁護士
109	2010下期	10	介護保険で改革したこと・改革できなかったこと	ゆき			
110	2010下期	11	診療報酬の透明化で医療を変える	中央社会保険医療協議会委員 勝村久司さん	医療事故		中医協
111	2010下期	12	目からウロコの歯の革命	オーラルフィジシャン育成セミナー主宰・歯科医 熊谷崇さ ん	歯科被害		
112	2010下期	13	現場から変えたパイオニアの背景を考える	ゆき			

番号	年	回	タイトル	講師	分野	タイプ	備考
113	2009下期	1	医療福祉とジャーナリズムの倫理				
114	2009下期	2	模擬患者が直面した医療現場の倫理	佐伯晴子さん（東京SP研究会代表）	模擬患者		
115	2009下期	3	薬害エイズ体験者として、国会議員として	川田龍平さん（参議院議員）	薬害被害		国会議員
116	2009下期	4	3度のがんを乗り越えた夫、発病を知って求婚した妻	上野創さん&高橋美佐子さん（朝日新聞記者×2）	3度のがん		ジャーナリスト
117	2009下期	5	ターミナルケアと認知症ケアの倫理	ゆき			
118	2009下期	6	自己決定が困難な人と胃瘻人工呼吸器停止をめぐる倫理	会田薫子さん（東京大学死生学研究室）	胃瘻人工呼吸器		研究者
119	2009下期	7	わが子を医療事故でなくした父と東海大元院長の絆	谷野隆三郎さん&菅俣弘道さん	医療事故		院長と遺族
120	2009下期	8	臓器移植・出生前診断の倫理	ゆき			
121	2009下期	9	聴覚障害のある人にとっての医療と福祉の倫理	早瀬憲太郎さん（「ゆずり葉」映画監督）	ろう		映画監督
122	2009下期	10	盲のソーシャルワーカーが入院して見えたもの	高梨憲司さん（千葉県障害者計画・部会長）	盲		
123	2009下期	11	車いす利用者から見たリハビリテーションの論理と倫理	熊谷晋一郎さん（小児科医）	脳性まひ		研究者
124	2009下期	12	歯科医療の倫理	弘岡秀明さん（スウェーデンデンタルセンター院長）			
125	2009下期	13	「幻覚&妄想大会」と「当事者研究」の倫理	向谷地生良さん（北海道医療大学教授）	精神病		PSW
126	2009下期	14	医療福祉政策策定現場の倫理	ゆき			

番号	年	回	タイトル	講師	分野	タイプ	備考
127	2008下期	1	医療福祉倫理を学ぶということ	ゆき			
128	2008下期	2	障害児時代の恐怖の体験、そして、今	尾上浩二さん	脳性まひ		
129	2008下期	3	医療事故と真実告白の倫理	内野直樹さん	真実告白		院長
130	2008下期	4	高齢者の医療と福祉の倫理	ゆき			
131	2008下期	5	自死遺児としての苦悩の日々、そして今	山口和浩さん	自殺		遺族
132	2008下期	6	精神医療と福祉の倫理	ゆき			
133	2008下期	7	サリドマイドで両腕を失い、いま料理サポーターとして	増山ゆかりさん	薬害被害		サリドマイド
134	2008下期	8	遺伝子診断、臓器移植	ゆき			
135	2008下期	9	脳神経外科医と視覚障害者 両方の体験を通して	佐藤正純さん	盲		医師
136	2008下期	10	「内部告発」という名のボランティア	打出喜義さん	内部告発		医師
137	2008下期	11	聴覚障害のある日本初の薬剤師の立場から	早瀬久美さん	ろう		薬剤師
138	2008下期	12	ひとり暮らしの認知症の人が癌になったとき	宮崎和加子さん	認知症		ナース
139	2008下期	13	ソーシャルアクション	ゆき			

番号	年	回	タイトル	講師	分野	タイプ	備考
140	2007下期	1	インフォームド・コンセント、そして、ミスを告白すること	ゆき			
141	2007下期	2	アブノーマライゼーションとノーマライゼーション	ゆき			
142	2007下期	3	医療事故から学ぶ、そして防ぐ	豊田郁子	遺族		
143	2007下期	4	当事者とともに社会を変える	清水康之・NPOライフリンク代表	自殺		ジャーナリスト
144	2007下期	5	見えないことへの想像力	笹川吉彦さん 日本盲人会連合会長	盲		
145	2007下期	6	社会保障行政における倫理と論理と方法	辻哲夫さん・厚生労働省・前事務次官	官僚		
146	2007下期	7	臨床試験の倫理・医師の立場・患者の立場	別府宏暉さん&中澤幾子さん	医師と患者		
147	2007下期	8	介護の技と医療福祉倫理	坂本宗久さん 生活介護研究所代表	介護者		
148	2007下期	9	聞こえない身で病気になること	植野圭哉さん 千葉県聴覚障害者協会	ろう		
149	2007下期	10	遺伝のイメージと倫理	アルビノの若者と石井拓磨さん	遺伝		
150	2007下期	11	福祉と教育、そして、自治体を動かす法	坂本祐之輔さん 東松山市長	首長		
151	2007下期	12	メディアと医療福祉倫理～敬遠・敵対から連帯へ	大熊一夫さん			ジャーナリスト
152	2007下期	13	ソーシャルアクションへ				

*大熊由紀子先生は全回参加 *講師欄は、ウェブ掲載のまま *長いテーマタイトルは一部、末尾が非表示となっています。ウェブサイトでお確かめください。

出典：ゆき. えにしネット 公開講義・倫理と変革の部屋 から抽出